備前市事務事業評価シート

（平成23年度事業）

事業の概要

事業開始年度		平成１５年～	根拠法令・例規等	備前市子育て応援ネットワーク「あおぞら」設置要綱	
総合計画	大項目	基本目標 02 健康でやさしさあふれるまちづくり	問合先	担当課（室）	こども課
	中項目	基本施策 01 やさしさあふれるまちづくり		職・氏名	子育て支援係長　堀川郁馬
	小項目	施策 01 子育て支援		電話	０８６９－６４－１８５３
事務事業名		09 子育てネットワーク活動支援事業	このシート作成に要した時間		4.0 時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	子ども及び子育て家族
目的（何のために）	家庭の子育て力が低下している中で、子育て支援グループ関係団体等で構成するネットワーク「あおぞら」等活動を支援し、行政との連携を図りながら地域に密着した子育てをしやすい環境づくりを推進する。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	子育て支援グループ等、子育て関係者が交流することにより、ネットワークが地域に根ざした子育て支援活動ができるようになる。

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
子育てネットワーク活動支援事業	子育て支援団体や関係機関・団体等が情報の共有や連携を図り、子どもや子育て家庭を応援する。	◎

事業費等

事業費等		単位	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度実績	
事業費	直接事業費	千円						
	必要人員人件費		0.14人	1,019	0.07人	449	0.06人	364
	事業費計			1,019		449		364
決算額 財源	国県支出金	千円						
	受益者負担							
	繰入金							
	市債							
	その他（　）							
	一般財源			1,019		449		364
受益者負担比率		%		－		－		－

結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
説明	ネットワーク「あおぞら」構成団体			
結果指標量	団体	9	9	10
対前年比	%	－	100.0%	111.1%
活動コスト	円	1,019,000	449,000	364,000
単位当たりコスト		113,222	49,889	36,400

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標であるが成果指標に留意しながら有効性を評価

事業の成果

成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
ネットワーク「あおぞら」構成団体数	目標値（A）	15	20	20	20
	実績値（B）	9	9	10	到達目標値
	達成率（B/A）	60.00%	45.00%	50.00%	20

成果指標設定の考え方・式や説明

ネットワーク「あおぞら」構成団体数。現在、行政関係団体やＮＰＯ法人等で構成されており、今後大幅な増はみこめないが子育て支援団体が組織されれば加入を促し組織強化を図る。

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください ＞

妥当性の評価

市の関与の妥当性 必要性

- □ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている

市民ニーズ

- □ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
- □ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

効率性の評価

コスト手段

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ■ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- □ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- □ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**C**

有効性の評価

目的達成度 市民参画度

- □ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- □ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- □ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- ■ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

進行年度（H24年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
	○						

説明：市の事業との連携やネットワークづくり、対象児童や構成団体の範囲の拡大を図る必要がある。

総合評価

子育て関係グループが情報交換や協働することにより、身近に子育てのニーズにあった子育て支援活動が期待できる。平成２０年度より立ち上げたネットワーク「あおぞら」によって、今後、子育て支援の活動の連携や拡充が期待できる。

総合評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

Action

平成25年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
	○						

取組目標：構成団体の連携の強化を図る